

新『新年の迎え方』

～平成27年 友愛の里新年交流会～

1 月11日(日)に毎年恒例となりまして、新年交流会が実施されました。

今年も、最初にお正月らしく、利用者2名によるお琴演奏を行い、聴いていた利用者も手拍子

や、琴演奏に合わせて歌うなど大いに盛り上がりました。

その後、初めての試みとして、ゲーム機のwiiを使用した100ピンボーリングというゲームを行いました。wiiとプロジェクターを接続し、大型スクリーンに映して行いました。利用者も画面を前にwiiリモコンを振って、大画面でピンが倒れたり、残ったりする映像に一喜一憂して楽しんでいました。昼食は、お寿司とオードブルで、みなさん美味しく食べていました。最後に、お菓子と



新年交流会のオープニングを飾った琴の演奏

また新しい扉を開けていく

～平成27年 地域利用者新年会～

平成27年を迎え、洞爺湖町に住む利用者20名が町内の飲食店に集まり、新年を祝いました。

昨年の新年会もそうでしたが、

ジュース・ビールなどを飲食しながら、カラオケを行い、踊りながら歌う利用者がいたり、大盛り上がりのなか終わりました。(S・K)



ゲームを楽しむ利用者の皆さん

たち、肉だんごや、きのこ類などが、だし汁の中に所狭しと並ぶ鍋。暖かい鍋で体を温め、でもやっぱり冷たいビールが一番と言わんばかりに、ジョッキを傾ける。美味しい料理を食べると、自然に会話も弾みます。最近の話から、昔の若かった頃を懐かしむ人たちもたくさんいたようです。

お腹をある程度満たした後は、カラオケで得意な曲を披露し、その後はゲームを2つほど行いました。まずは万歩ゲーム。万歩計を付けて、音楽に合わせて好きなように踊り、万歩計の歩数が一番多かった人が優勝というゲームですが、みなさん、思い思いに踊り、中には切れの良いダンスを見せる人もいて、大いに盛り上がりました。

次に『借り物ゲーム』、借り物競争と同じルールで、カードに記載された物をその場で叫ぶなどして、持っている人から借りるので、『好きなもの』というカードを引いた女性利用者は、しばらく考え込んでから、参加していた男性世話人さんを連れて、前に出てきて「好きなもの」と告白・・・、びっくり、どつきりな一場面もありました。



万歩ゲームで盛り上がる利用者の皆さん

11カ所の住居の利用者が交流する機会はほとんどなく、お酒を飲みながら語り合い、自分の夢なども話したりと、和気藹々とした雰囲気、会は進められました。古くからいる利用者は、この地に35年、長い年月の流れを感じさせる新年会でした。そして、私もこの地に26年、その26年を利用者の歴史に重ねながら、このままいつまでも、歴史を重ねつつ、寄り添いながら生きていきたいと思つた夜でした。

(M・S)